

項目		説明
試料・情報 の利用	研究課題名	高齢者における T4 食道癌に対する放射線治療の治療成績
目的 及び 利用方法	研究目的	食道は漿膜を欠き、また重要な臓器も隣接しており、周囲の臓器へ浸潤しやすい性質を持っています。こうした周囲の臓器浸潤を伴う T4 食道癌に対する標準治療は確立されておらず、臨床的には主として化学放射線療法が行われています。しかし、高齢者における T4 食道癌の放射線治療の治療成績に関する報告は乏しく、有用性や安全性は不明です。そこで、当センターで 2014 年 1 月から 2020 年 11 月までに根治的な放射線治療を実施した患者さんを対象に後方視的に臨床経過を調査、解析し、当センターにおける T4 食道癌治療の有用性や安全性を評価します。さらに、対象となる患者さんを高齢群と若年群に分け、両者の治療成績や有害事象を比較します。
	研究対象者	2014 年 1 月から 2020 年 11 月までに当院で放射線治療を開始した T4 食道癌の患者さんです。
	研究期間	西暦 2021 年 7 月 19 日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日
利用する試料・情報 の項目 (チェック[X]が入 った項目を利用し ます)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (放射線治療計画データ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・ 情報の 管理に ついて の責任 者	当センター 研究責任 者	高草木 陽介
試料・ 情報 を利用 する者 の範 囲	当センター での実施診 療科/部局等	放射線治療科
	共同研究の 場合、共同研 究機関およ び各施設で の研究責任 者	とくに共同研究機関はありません。